

毎日タイムズ マシン

歴史が見えると、今が見える。



さあ、タイムズマシンに乗りこもう。
今日のテーマは？

ピープルズパワー

社会を動かすのは民衆の力だ。為政者もその力を無視することはできず、暴力で抑えつけ、あるいは権力維持に利用しようとする。政治的自由を求める運動や不正な扱いへの異議申し立て、飢餓や貧困に追い詰められた大衆運動が、政権を揺さぶり、時に革命や内戦、暴動となって、歴史の歯車を動かしてきた。毎日新聞が伝えた民衆の力＝ピープルズパワーの歴史を振り返ってみよう。(右上写真は2011年10月20日、カダフィ大佐死亡のニュースを知り、喜ぶリビアの人々)



リビア共同

2011-秋
反格差デモ



2011年10月16日朝刊

ウォール街を占拠せよ

米ニューヨークで始まった反格差デモ「ウォール街を占拠せよ」は15日、欧州やアジアに飛び火。ロイター通信などによると、債務危機が懸念されるイタリア、スペイン、ポルトガルでは首都で、ユーロを発行する欧州中央銀行本部があるドイツ・フランクフルトやロンドン証券取引所の近くではそれぞれ数千人がデモ行進した。パリでもデモがあり、ローマでは参加者が車が放火するなど暴徒化し、4人が負傷した。提唱者によると、15日のデモは計82カ国、951都市に広がる見通し。ベルリンでは首相府前に

数千人が集結、警官隊とにらみあった。

【もっと知りたい!】

中東の独裁政権を打倒した「アラブの春」に影響されたカナダの非営利雑誌「アドバスターズ」の創設者兼編集長のカレ・ラースン氏がネットで呼びかけた。米国の19~25歳の若者の40%が定職に就けていないのに、ウォール街の金融会社が公的資金で救済され、経営者や社員が巨額の報酬を得ていることを「金融街の詐欺師たち」と批判。初日の9月17日には約1000人が参加、10月1日には5000人以上がデモ行進し、700人が逮捕された。2010年の米中間選挙でオバマ民主党大敗の一因になった保守派の草の根

運動「ティーパーティー(茶会)」に対して、「左派版茶会」ともいわれている。



9月30日、立ち上って意見を述べよう抗議運動の参加者—山科武司撮影

2011-2
エジプト政権崩壊



2011年2月12日夕刊

ネット連帯 アラブの春

「エジプトは自由だ」。ムバラク大統領の辞任が発表された11日午後6時過ぎ、デモの中心であるカイロのタハリール広場では辞任情報が携帯メールでまたたく間に広がり、広場は地鳴りのような歓喜の声に包まれた。ネットや携帯でつながった「ゆるやかな連帯」が独裁体制を打ち倒す、新しい民衆革命の姿があった。「ファラオ(エジプト王、独裁者)は倒された」。「生まれて初めて自由を感じた」。人々は喜びを爆発させた。大規模な流血もなく市民

の多様な連帯で成し遂げられたさわやかな政変劇を、白色をイメージし「ホワイト革命」と欧



10日、カイロのエジプト国会前でムバラク大統領の即時退陣を求めるデモ参加者—ロイター

米では呼び始めている。

【もっと知りたい!】

2011年1月、チュニジアの民衆蜂起がきっかけで政権が崩壊し、中東に民主化の動きが広がった。共通するのは長期独裁政権が富を独占し、高失業率に苦しむ民衆の不満。2月にはエジプトのムバラク政権、8月にはリビアのカダフィ政権が崩壊したが、シリアでは政府の弾圧で混乱が長期化している。ツイッターやフェイスブックなどがデモや集会の呼びかけに活用されて民主化のうねりを拡大し、新しい市民運動の方法として先進国にも影響を与えた。

2010-11
ティーパーティー



2010年11月4日朝刊

オバマ民主が大敗

米中間選挙は2日、投票開され、連邦議会下院(定数435)では、野党の共和党が、240議席以上を獲得する見通しの歴史的勝利となった。民主党は80議席以上失い、52議席を失った94年の中間選挙を上回る大敗を喫した。中間選挙での与党としては1938年、民主党のフランクリン・ルーズベルト政権が下院の71議席を失ったのに次ぐ大敗。高失業率が続いているうえ、経済回復の実感がないことへの国民の不満が、オバマ政権に対する厳しい評価につながった。連邦政府の財政支出の削減などを求める保守系草の根運動「ティーパーティー(茶会運動)」が支援した候補者たちの躍進も目についた。

米中間選挙は2日、投票開され、連邦議会下院(定数435)では、野党の共和党が、240議席以上を獲得する見通しの歴史的勝利となった。民主党は80議席以上失い、52議席を失った94年の中間選挙を上回る大敗を喫した。

中間選挙での与党としては1938年、民主党のフランクリン・ルーズベルト政権が下院の71議席を失ったのに次ぐ大敗。高失業率が続いているうえ、経済回復の実感がないことへの国民の不満が、オバマ政権に対する厳しい評価につながった。連邦政府の財政支出の削減などを求める保守系草の根運動「ティーパーティー(茶会運動)」が支援した候補者たちの躍進も目についた。

【もっと知りたい!】

ティーパーティーは小さな政府を目指し増税を拒否する草の根の保守運動。米国独立前の1773年、英国による植民地圧政のシンボルとなっていた茶税法に反発したボストンの市民らが、英国船の積み荷の紅茶箱をボストン湾に投げ捨てた「ボストン・ティーパーティー(茶会)事件」にちなんで名付けられた。ティー(TEA)は、「増税はもうたくさんだ(Taxed Enough Already)」の意味もあるとされ、巨額の財政支出を伴うオバマ政権の医療保険改革を「大きな政府」と批判している。参加者の大半は白人の保守層とされる。

1989-6
天安門事件



1989年6月5日朝刊

学生ら2600人が死亡

先月20日の戒厳令布告以来、緊迫が続けてきた北京市で4日午前5時半、戦車、装甲車を伴う約10万人の戒厳部隊が銃撃によって天安門広場を完全制圧した。中国紅十字会の関係者などによれば、この鎮圧と市内各所での徹底的な無差別発砲などで市民、労働者、学生ら少なくとも2600人が死亡、負傷者は1万人から2万人にも達した模様である。武力制圧が強制された背後には、中国指導部内の権力闘争における保守・強硬派の勝利がうかがえるが、党、軍への市民の反感の高まりから、中国共産党の指導体制が大きく揺れることは必至。武力制圧に反対する軍の一部と戒厳部隊とが衝突したとの情報も

流れ、全土の主要都市で抗議デモの動きが伝えられるなど、中国情勢は重大な岐路に立った。

【もっと知りたい!】

1989年4月15日に死去した胡耀邦・元中国共産党総書記を学生や知識人らが追悼する動きが、民主化要求運動に発展。中国当局は5月20日に戒厳令を布告、6月4日未明に武力鎮圧した。中国政府は死者数を319人としているが、実態は不明。北京の天安門広場で民主化を求めて座り込んでいた学生らに対し、当時の趙紫陽・中国共産党総書記が対話による解決を目指そうとしたのに対し、最高実力者の鄧小平氏らが強硬手段で民主化要求を抑え、趙総書記が失脚。代わって上海市委書記だった江沢民氏が総書記に抜てきされた。改革開放政策によって経済

発展が本格化するとともに、学生や知識人の民主化要求が高まっていたが、共産党一党独裁のもと政治の自由化は押さえ込んだ。



6月3日の深夜、天安門広場に近づく大通りで、群衆に取り囲まれ所在なげに座り込む兵士。この数時間後、軍部隊は発砲しながら広場に向かい、多くの死傷者を出した—ロイター共同

一族が不正蓄財 政敵弾圧の果て



1986年2月26日夕刊

フィリピンのマルコス大統領は25日夜、イメルダ夫人ら家族とともにマニラ市内のマラカニオン宮殿(大統領官邸)を出て、クラーク米軍基地から国

外脱した。これにより20年間に及んだマルコス独裁政権は、ほとんど流血を見ることなく崩壊した。同日、正式に発足したばかりのアキノ女史を大統領とする臨時政府のもとフィリピンは民主主義を旗印に国家再建へ向けて歩み出すことになった。

?もっと知りたい!

1965年に就任したマルコス・フィリピン大統領は70年代になると戒厳令を布告して独裁体制を築いた。マルコス独裁に反対するベニグノ・アキノ上院議員ら政敵を弾圧し、米軍亡命に追い込んだ。83年に大統領選立候補のために帰国したアキノ上院議員がマニラ国際空港到着直後に暗殺されたことで、国内の反マルコス運動が激化。イメルダ大統領夫人の華美な生活、一族の不正蓄財が民衆の怒りを増幅した。86年2月の大統領選には、アキノ氏の妻コラソン・アキノ氏が立候補。民間の選



16日、マニラの公園で行われた「勝利集会」で群衆にL(戦い)サインを示すアキノ女史(中央)＝ロイター

東大に機動隊 ガス弾と放水



1969年1月18日夕刊

反日共系学生の占拠により「暴力の学園」と化した東京大学本郷構内に、18日早朝警視庁機動隊が導入された。加藤総長代行が出動要請したもので、

昨年6月17日とことしの1月9日に続いて3度目の機動隊導入である。この日、構内に出勤した制、私服警官は約8500人で、ガス弾の乱射と放水を繰り返しながら医学部中央館、法文1、2号館などを次々と「解放」。最後のトリテとなった安田講堂では武装学生た



機動隊の装甲車から放水される安田講堂＝本社機「スワン号」から

ちが投石と火炎びん、手製火炎放射器などで激しく警官隊に抵抗、白兵戦の場と化した。

?もっと知りたい!

東京大学医学部研修医の待遇改善運動を発端に、新左翼セクト(非共産党系)の左翼党派が加わった全学共闘会議(全共闘)が自治活動の自由化や大学改革などを要求してストライキやバリケード封鎖などの闘争を展開した。安田講堂の封鎖が解除されると運動は終息に向かったが、同年の東大入試は中止された。日本大学など全国の多くの大学でも学生運動が激化していたが、東大と日大の闘争終息で下火になっていった。反戦運動などと連携した学生運動は一定の支持を受けたが、70年代に入ると殺人も辞さない党派間の内ゲバ事件が頻発、爆弾闘争やハイジャック事件などを起こすセクト＝「過激派」が現れ、若者の異議申し立てとして始まった学生運動への支持は失われていった。

デモ隊が国会包囲 女子学生死亡



1960年6月16日朝刊

安保阻止闘争はついに死者を出した。15日午後「安保反対」「国会即時解散」を要求して国会周辺に集まった全学連主流派約2万人の学生は、午

後5時すぎ参院付近でこん棒を持った右翼におそわれ乱闘、38人(国会議事発表)が負傷したが主力は午後6時すぎ国会の南通用門を壊し、トラックをひきずり出し、攻撃をくりかえし、警官隊は警棒をふるいおそいかかるといふ、これまでに激しく衝突した。学生1000人が国会構内を占拠、いったん警官隊に押しかえされたが、再び約5000人が入り込み、抗議集会を開いた。この乱闘で女子学生1人が病院へ収容途中死亡、負傷者は救急車で収容されたものだけで27病院406人＝うち重傷41人＝(16日午前2時現在)にのぼった。デモの死者が出たのはメーデー騒乱事件以来である。

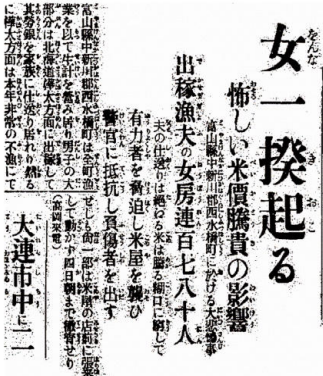
?もっと知りたい!

この年1月19日にワシントンで調印された新日米安保条約が2月から国会で審議された。第二次世界大戦の惨禍の記憶も新しく、東西冷戦が激化する中で、「日本を戦争に巻き込むもの」



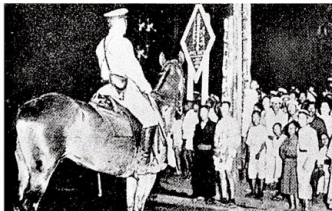
18日新安保条約の自然承認を止めよう、国会前をうらめたデモ隊

漁民の妻ら 有力者を襲う



1918年8月5日朝刊

怖ろしい米価騰貴の影響 富山県中新川郡西水橋町に於ける大悲惨事 出稼ぎ漁夫の女房連170—180人 夫の仕送りは絶える米は騰る 糊口に窮して有力者を脅迫し米屋を襲い 警官に抵抗し負傷者を出す



富山県中新川郡西水橋町は全町漁業で生計をたてている。男子の大部分は北海道樺太方面に出稼ぎして収入を家族に仕送りしている。ところが樺太方面は本年非常に不漁で仕送り金が全く途絶えたばかりか、かえって富山へ帰る旅費を送ってくれ、といってくる有様である。家族は昨今の米価騰貴で食うものもなく、今や餓死するほかないような悲惨な状態にある。そこで、このほど、出稼ぎ漁夫の家族が集まっては何事か密議をこらして不穏の様子だったが、突然3日午後7時ごろから、各家の女たちが続々海岸に集まり、3隊に分かれ、有力者を襲って、米を他町に売らず、町民に安く売ってくれ、もし聞かない場合は家を焼き払い一家

民衆は米屋に対し米の半値の安売りを、富農に対しては救済寄付金を要求、拒否されると、家を焼いたり、打ち壊したり、延べ9万人以上の軍隊が動員された

?もっと知りたい!

第一次世界大戦(1914~18年)の影響で海運業が発展し、「船成り金」や造船用の鉄鋼需要増大による「鉄成り金」が生み出される一方で、庶民は物価高騰に苦しんでいた。1918年の米騒動は、凶作ではなく米商人や地主による米投機によるもので、富山の「女一揆」が新聞で報じられると全国に飛び火し、約50日間にわたって騒動が吹き荒れた。寺内正毅内閣は全国に及んだ流血事件の責任をとって総辞職した。後任は平民宰相と呼ばれた原敬で日本初の本格的な政党内閣となった。



今まで なかつた!

花も、野菜も、根も、土も。
この登場を待っていた。
ガーデニングに革命を!



新・活 力液。



3つの有効成分配合 (コリン・フルボ酸・アミノ酸)*特許出願中

各種ミネラル配合 (とくにカルシウムたっぷり)



リキダス+肥料。
一緒に使えば、
効果革命的!

株式会社 ハイポネックス ジャパン
<http://www.hyponex.co.jp>

正解③

市場経済の導入、国際経済への積極参入などがうたわれ、1988年には外国投資法が施行された。1996年の第8回ベトナム共産党大会で路線継続を確認し、「2020年までに工業国入りを」の目標を掲げた。



毎日新聞創刊140年